

サイクリングでお気軽健康づくり！

自転車はウォーキングやランニングと並んで、手軽に出来る運動のひとつです。

自転車で真野川親水サイクリングロードを楽しみながら、気軽な健康づくりに取り組んでみましょう！

自転車で健康づくりのススメ。

01

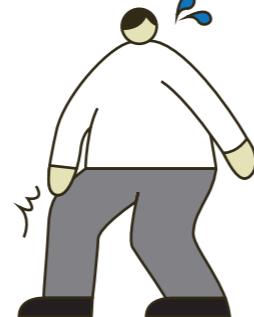
運動の強度を確保しやすい



健康づくりのためにはある程度の運動強度が必要となります。有酸素運動の代表格とされるウォーキングと比べ、自転車による運動は心拍数が全体的に高いという特徴があるため、運動強度の確保が期待できます。

02

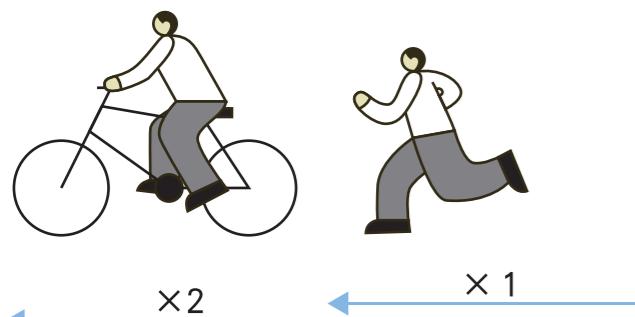
関節にやさしい



自転車はウォーキングなどと比べて膝関節にかかる負荷が低いと言われています。ウォーキングですら体重の5-7倍の負荷が膝関節にかかると言われているので、ランニングの場合はさらに大きな力が加わり、痛みの原因になってしまう場合も。

03

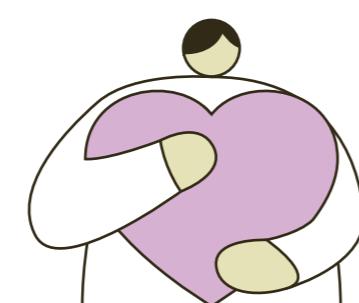
より広い範囲へ行動出来る



同じ有酸素運動であるウォーキングやランニングと比べたときに、同じ時間で約2倍の範囲まで遠くへ行くことが出来ます。自転車で真野川親水サイクリングロードを走ることで、運動しながら海を見に行くことも出来ます。

04

爽快感などのメンタル効果



自転車はランニングと比べても走行速度が高いため、風による冷却効果で疲労感を軽減することが出来ます。また、スピード感や風景の移り変わりを楽しむことで、つらさを感じにくいという人も多いと言われています。



真野川親水 サイクリングロード



真野川親水 サイクリングロード

2021年に開通した真野川沿いを中心とするサイクリングロードです。常磐道のサービスエリアに併設しているセデッテかしまと、太平洋を臨む鳥崎海浜公園を結ぶ約11kmが設定されており、ほぼ平坦なコースとなっているのが特徴です。サイクリングロードの一部は、河川敷沿いの自転車歩行者専用道路になっており、車と交錯する心配がないため、普段自転車に乗り慣れていない方でも楽しむことが出来ます。



交通ルール＆マナー

自転車は自動車と一緒に車両です！免許不要の乗り物なので、ついつい歩行者と同じ感覚になってしまいますが、車両という自覚を持って乗車するようにしてください。

①自転車は原則「道路の左側端」に寄って通行しなければなりません。

歩道の走行は避けるようにしてください。

②信号機や一時停止は厳守！

自転車が従うべき信号は原則「自動車と同じ信号」です。

③ヘルメットを被りましょう！

ヘルメットを着用することで、事故時の死亡率が1/3になると言われています。

